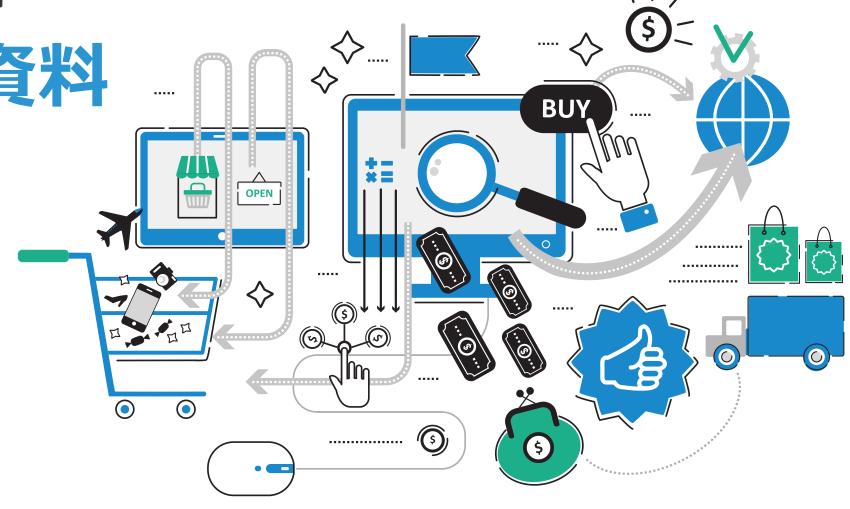
2026年3月期第1四半期

決算説明資料

株式会社ベガコーポレーション

証券コード: 3542







INDEX _{目次}

- 1 2026年3月期 第1四半期決算概要
- 2 LOWYA事業の報告
- 3 DOKODEMO事業の報告
- 4 2026年3月期 業績予想



1

2026年3月期 第1四半期決算概要



全社業績概況

LOWYA事業は実店舗出店の効果により旗艦店+実店舗(OMO)が好調。 DOKODEMO事業はユーザビリティの向上に取り組み、前年同期と同水準を維持。

	1Q	YoY
売上高	4,351 百万円	120.9 %
売上高(LOWYA)	4,262 百万円	121.5 %
売上高(DOKODEMO)	89 百万円	98.2 %
営業利益	264 百万円	130.5 %

LOWYA事業 概況

- ・ 実店舗出店の効果により売上高は4,262百万円で着地。
- ・ 当四半期において実店舗を新たに2店舗オープンし、計10店舗を展開中。
- ・実店舗数の増加に伴い客数も増加傾向。
- ・ 旗艦店会員数2百万人を突破。
- ・実店舗出店や基幹システムリプレイスに関する費用を計上。

DOKODEMO事業

概況

・ AIを使用した翻訳精度の向上やOMS連携に向けたシステム開発等、ユーザビリティ向上に取り組んだ結果 GMVは557百万円、売上高は89百万円で着地。

※GMV: Gross Merchandise Value (流通総額)

※OMS: Order Management System (複数のECサイトからの受注から出荷までの一連のプロセスを管理するためのシステム)

決算ハイライト(第1四半期)



(単位:百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	YoY	2026年3月期 上期計画	2026年3月期 上期進捗率
売上高	3,598	4,351	120.9%	8,000	54.4%
売上総利益	1,880	2,248	119.6%	_	_
売上総利益率	52.2%	51.7 %	-	-	-
販管費	1,677	1,984	118.3%	_	_
販管費率	46.6%	45.6%	-	-	-
営業利益	202	264	130.5%	400	66.1%
営業利益率	5.6%	6.1%	_	-	-
経常利益	203	267	131.5%	400	66.9%
四半期純利益	130	178	136.9%	240	74.3%

決算ハイライト(四半期毎)

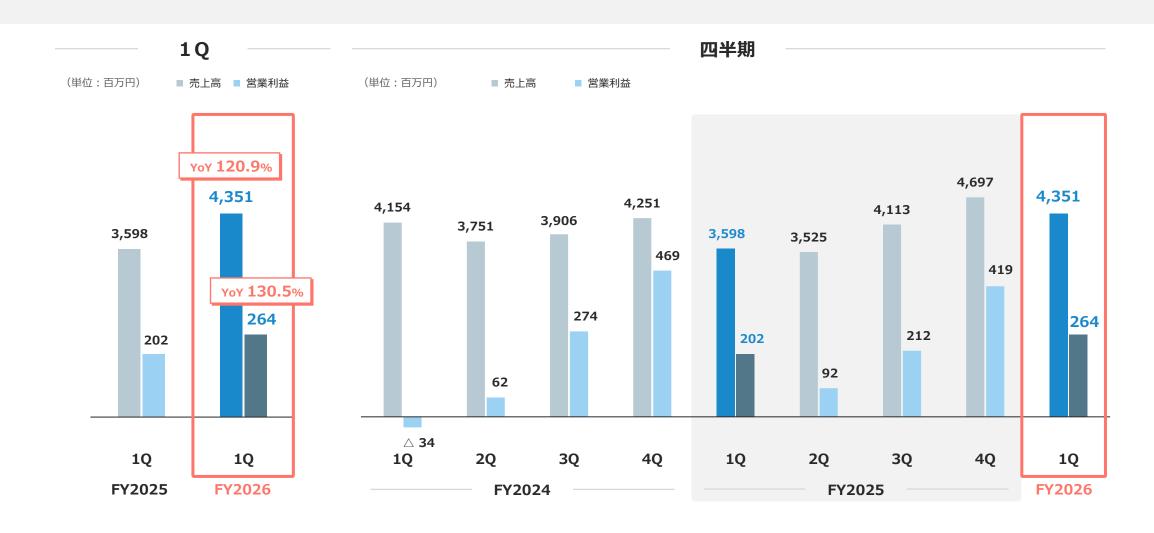


(単位:百万円)

		2026年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	3,598	3,525	4,113	4,697	4,351
売上総利益	1,880	1,794	2,075	2,412	2,248
売上総利益率	52.2%	50.9%	50.5%	51.4%	51.7%
販管費	1,677	1,701	1,863	1,993	1,984
販管費率	46.6%	48.3%	45.3%	42.4%	45.6%
営業利益	202	92	212	419	264
営業利益率	5.6%	2.6%	5.2%	8.9%	6.1%
経常利益	203	95	213	425	267
四半期純利益	130	60	136	264	178



1Qの売上高は4,351百万円(YoY 120.9%)、営業利益は264百万円(YoY 130.5%) で着地。



貸借対照表



(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 第1四半期		2025年3月期	2026年3月期 第1四半期
流動資産	6,611	6,399	流動負債	2,000	1,839
うち、現預金	1,835	2,287	うち、買掛金	373	355
うち、売掛金	2,016	1,307	うち、未払金	823	777
うち、商品	2,312	2,372	うち、借入債務	_	_
固定資産	1,462	1,569	固定負債	114	138
うち、有形固定資産	494	579	負債合計	2,114	1,978
うち、無形固定資産	199	174	株主資本	5,945	6,020
うち、投資その他の資産	768	815	純資産合計	5,958	5,990
資産合計	8,073	7,968	負債純資産合計	8,073	7,968

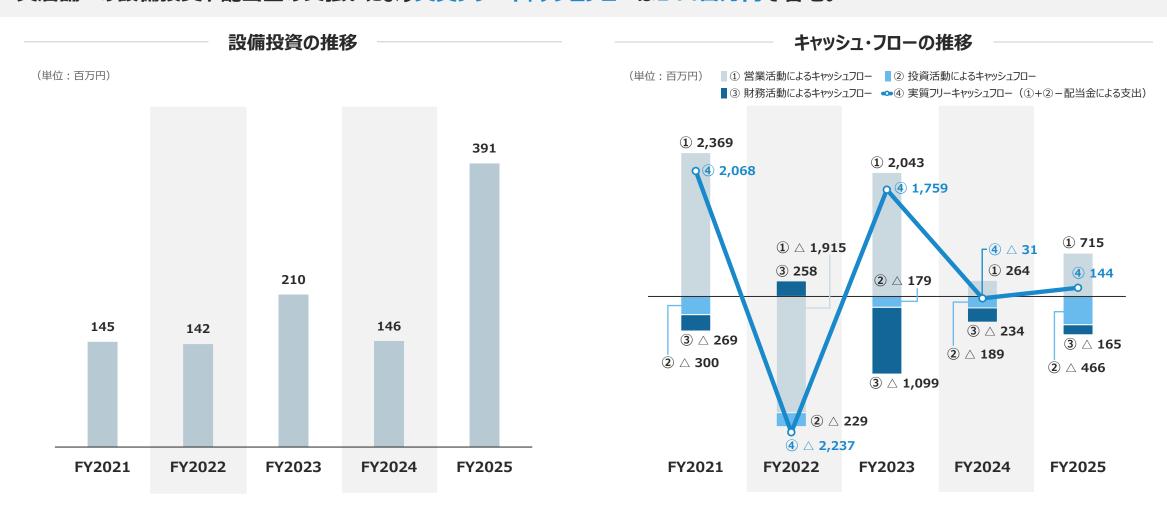
設備投資の推移、キャッシュ・フローの推移



2025年3月期は、主に実店舗への設備投資を実施。

利益重視の方針で運営したことにより営業活動によるキャッシュフローは増加したが、

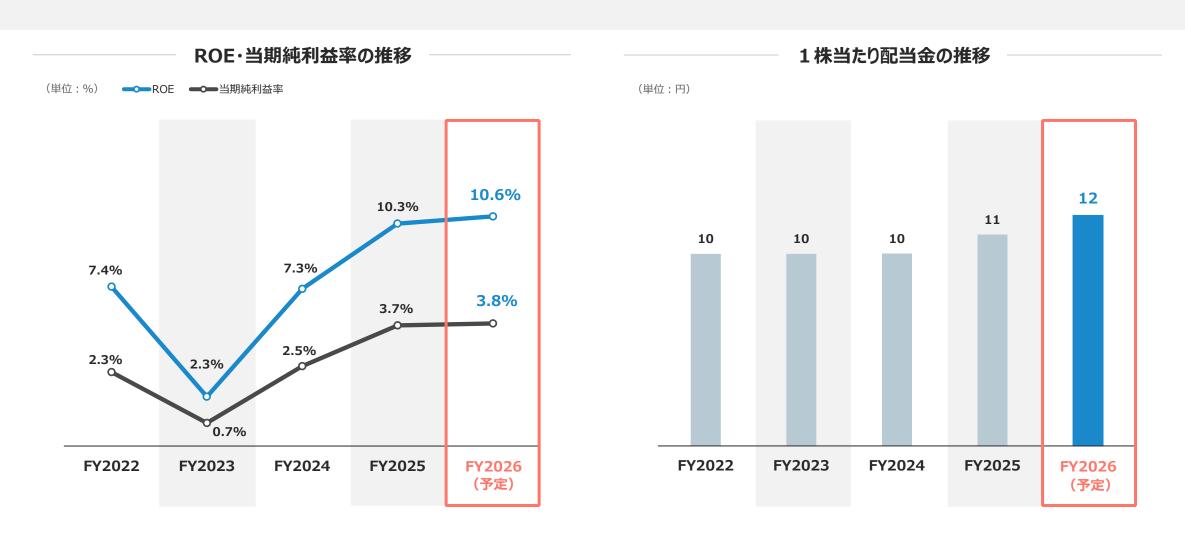
実店舗への設備投資や配当金の支払いにより実質フリーキャッシュフローは144百万円で着地。



ROE・当期純利益率の推移、1株当たり配当金の推移



2026年3月期はROE 10.6%、当期純利益率 3.8%の計画。 配当は1株当たり12円を予定。DOE2.0%を目安とした継続的な配当を実施し、残りは成長投資へ回す方針。



サステナビリティ



ESGの中でも環境・社会に関する活動を実施。

CO2排出量削減やガバナンス強化に向けた施策を含めて引き続き検討。

撮影品寄付

2025年5月

福岡県内の福祉施設へ撮影時に利用した家具を寄贈。

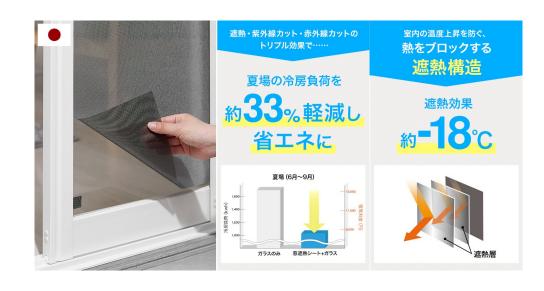


サステナブルな商品のリリース

2025年6月

はがせる窓用遮熱シートを発売。

遮熱・紫外線カット・赤外線カット効果で夏場の冷房負荷を軽減。





2

LOWYA事業の報告



主要指標(第1四半期)



実店舗の増加により売上高は4,262百万円 (YoY 121.5%) で着地。 当四半期において、実店舗を新たに2店舗オープンし、計10店舗を展開中。 旗艦店会員数が2百万人を突破。エンゲージメントアカウント数も順調に増加。

売上高

4,262 百万円

YoY 121.5%

営業利益

262 百万円

YoY 130.5%

客数 ※1

207 天人

YoY 118.5%

客単価 ※1、2

21,688 _P

YoY 103.5%

実店舗数

10店舗

前期末比 + 2店舗

旗艦店会員数 ※3

2,058 刊

YoY 125.2%

APP DL数*3

1,832 千件

YoY 117.5%

エンゲージメント アカウント数 ※3、4

2,135 千万カウント

YoY 138.3%

^{※1.} 前第2四半期において算出方法を変更(実店舗分を加算)したため、遡及修正して表示

^{※2.} 受注GMV(Gross Merchandise Value(流通総額))を受注件数で除すことにより算出

^{※3.2025}年6月末時点

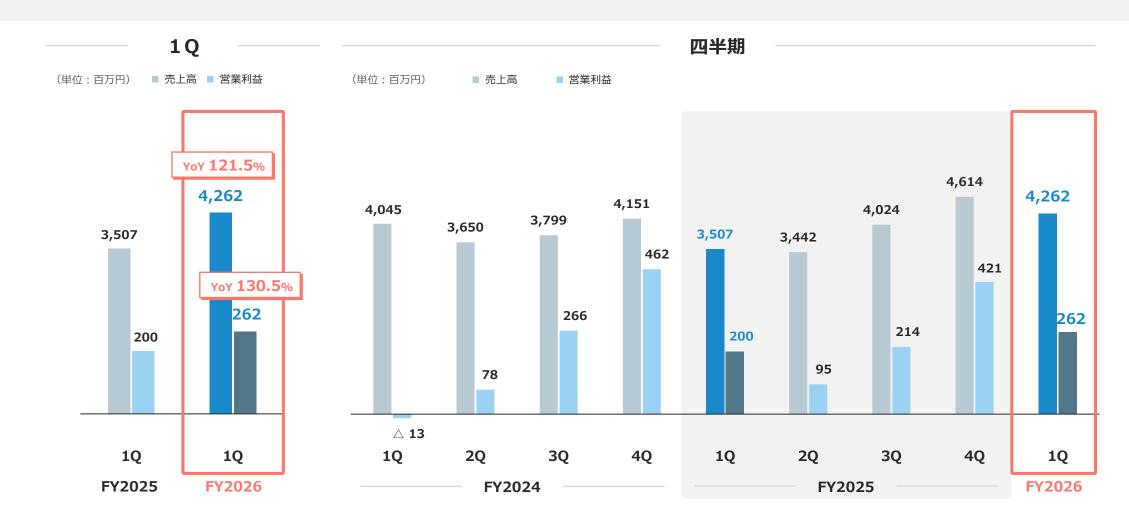
^{※4.} Instagram、TikTok、X、Lemon8、Threadsフォロワー数、YouTube登録者数、THE 608 HOTELアカウント数の合計。なお、Threadsは2024年11月より運用を開始しております。また、THE 608 HOTEは2025年1月末で運用を終了いたしました。







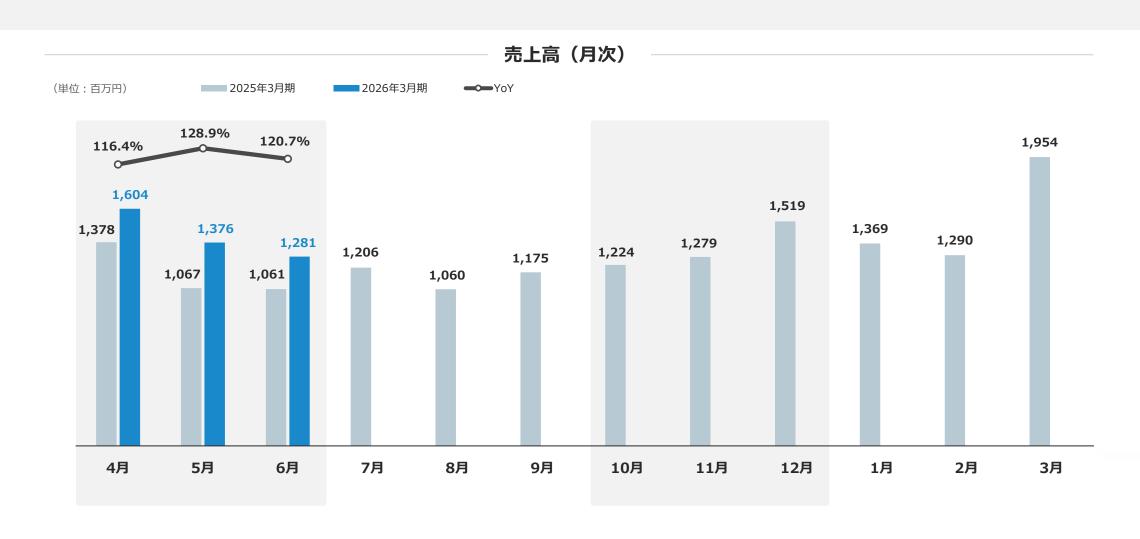
実店舗の出店により、1Qの売上高は4,262百万円 (YoY 121.5%)、 営業利益は262百万円 (YoY 130.5%)で着地。







実店舗出店の効果により、全ての月でYoY 100%を上回り推移。









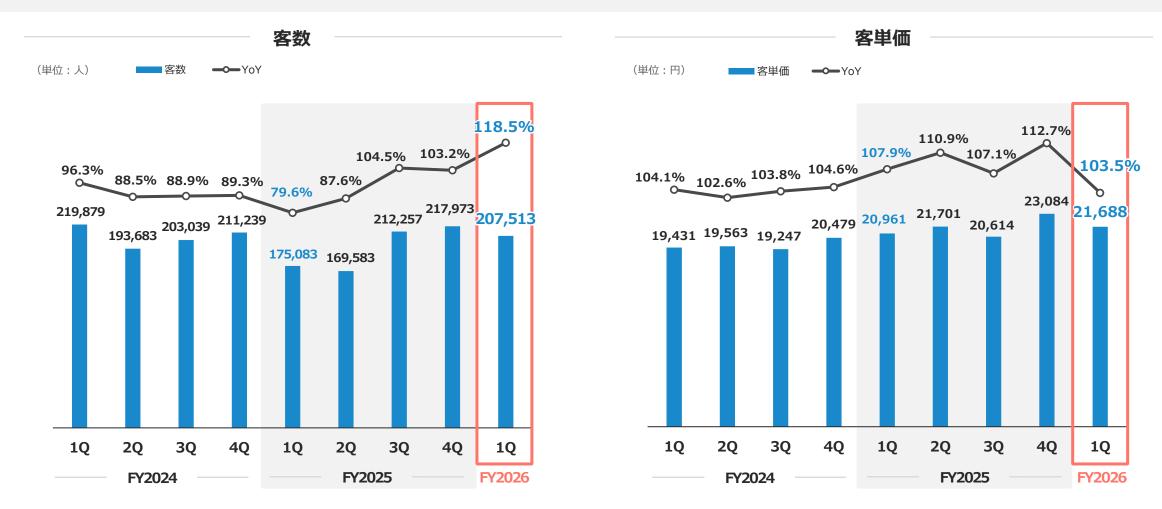
実店舗出店の効果により旗艦店+実店舗(OMO)が好調。 旗艦店+実店舗(OMO)が2,379百万円(YoY 146.4%)となり、 1QのOMO比率は55.8%(YoY 9.5pt増)となった。







前年同期と比較して、客数は実店舗の増加により増加。また、客単価は微増。



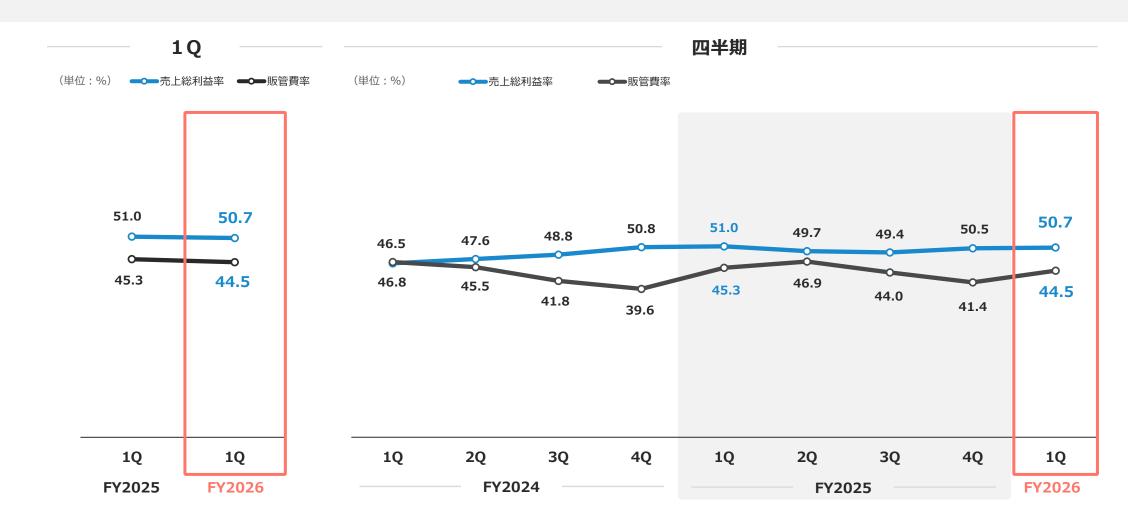
^{※1.} 客単価は、EC及び実店舗の受注GMV(Gross Merchandise Value (流通総額))を受注件数で除すことにより算出しております。 ※2. 前第2四半期において客数、客単価の算出方法を変更(実店舗分を加算)したことに伴い、遡及修正して表示しております。







為替ヘッジの効果で売上総利益率は50.7%(YoY 0.3pt減)と安定的に推移。 販管費率は、実店舗の出店や基幹システムリプレイスに向けた準備の実施により44.5%(YoY 0.8pt減)で着地。

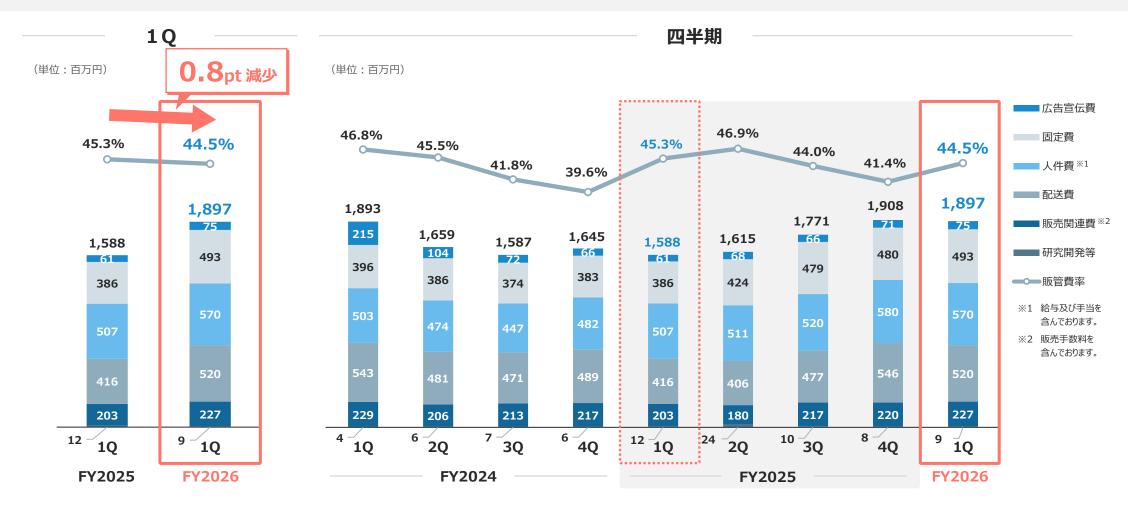






実店舗の出店や基幹システムリプレイスに向けた準備の実施によるコスト増加の影響で

1Qの販管費は1,897百万円(YoY 119.5%)、販管費率は44.5%(YoY 0.8pt減)で着地。

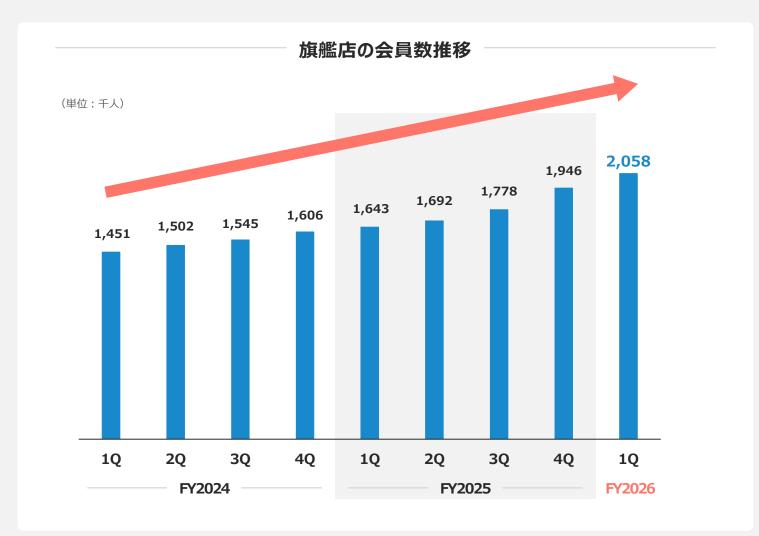


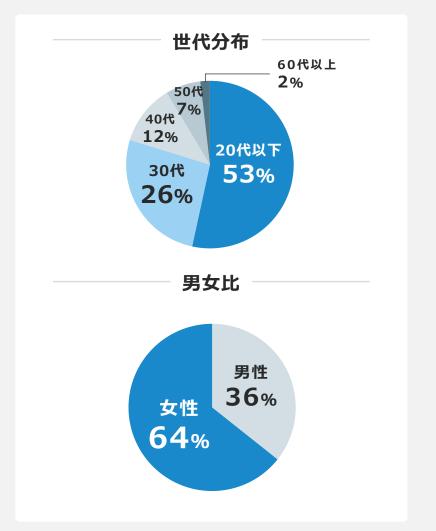






旗艦店の会員数は着実に増加し、2百万人を突破。 20代~30代の支持が厚い。









デザイン性・トレンド性にこだわった自社PB商品を中心に投下し、コスト競争力でリーズナブルな価格訴求。

家具



ゴミ箱収納付きキッチンボード 46,990円(税込)



収納棚付きハンガーラック 29,990円(税込)



折りたたみソファベッド 94,990円(税込)



ガーデンテーブル 3 点セット 22,990円(税込)

その他



2 WAYコードレス掃除機 7,990円(税込)



クッションカバー 1,490円(税込)~





内製化している公式アプリやSNS運用が、集客の要として機能。

スマホアプリダウンロード数は183万、Instagramフォロワー数は117万を突破し、順調に増加中。

	はるエンゲージメント・チャネルの規模 ⁻5年6月末現在)
LOWYA旗艦店アプリ	183 万 ダウンロード (累計)
Instagram	117 万 フォロワー
J TikTok	41 万 フォロワー
YouTube	21 万 チャンネル登録者
⇔ おくROOM®アプリ	41万 ダウンロード (累計)





おくROOM®



LOWYAの公式SNS



実店舗出店先



2025年4月に愛知県安城市、2025年6月に東京都武蔵村山市へ出店。また、2025年11月に埼玉県三郷市、2025年12月に福岡県糟屋郡へ出店予定。





2025年4月、2025年6月に1店舗ずつオープン。 当期は出店目標5店舗以上のうち、2店舗を出店。

9号店(LOWYAららぽーと安城店)



10号店(LOWYAイオンモールむさし村山店)





3

DOKODEMO事業の報告

主要指標(第1四半期)



AIを使用した翻訳精度の向上やOMS連携に向けたシステム開発等、ユーザビリティ向上に取り組んだ結果 GMVは557百万円(YoY 97.8%)、売上高は89百万円(YoY 98.2%)で着地。 会員数やアプリダウンロード数は順調に推移。

GMV *1

557 百万円

YoY 97.8%

売上高

89 百万円

YoY 98.2%

会員数 ※2

1,188 ∓人

YoY 107.9%

APP DL数 **2

1,682 千件

YoY 103.8%

客数

38 _{₹人}

YoY 97.2%

客単価

12,125 _P

YoY 99.3%

取扱商品数 ※2

48,940 [±]

YoY 105.1%

配送実績※2、3

123 m国

YoY 102.5%

^{※1.} Gross Merchandise Value (流通総額)

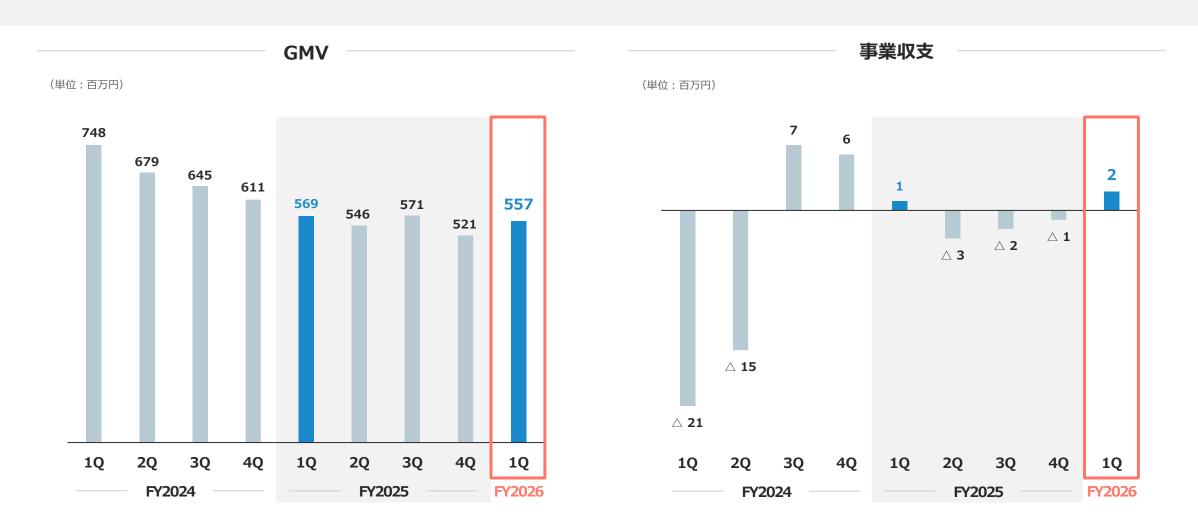
^{※2. 2025}年6月末時点

^{※3.} 国と地域の配送実績数(過去累積)





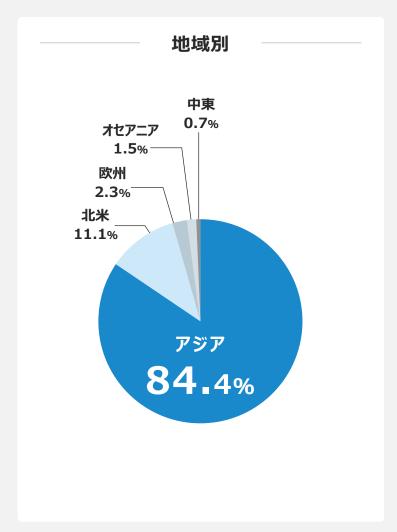
AIを使用した翻訳精度の向上やOMS連携に向けたシステム開発等、ユーザビリティ向上に取り組んだ結果 GMVは557百万円、事業収支は2百万円で着地。

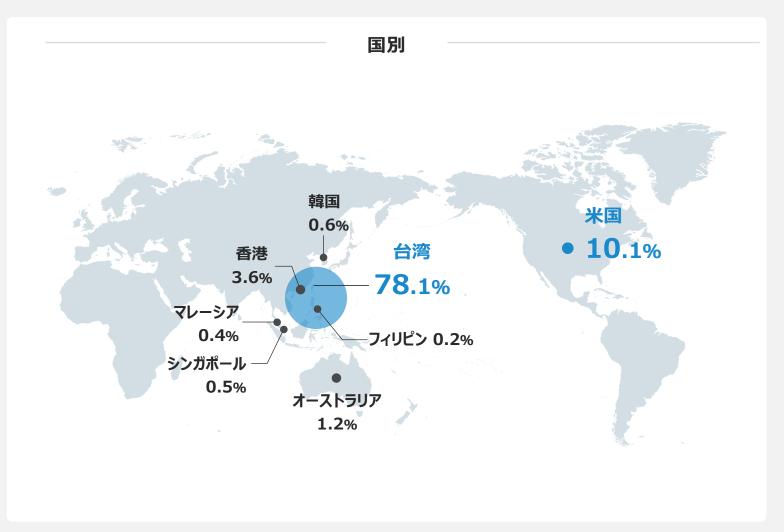






台湾を中心にアジア向けの配送がGMVの8割超、米国への配送が1割を占めている。







4

2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想



2025年5月15日開示の業績予想から変更なし。

	2026年3月期		YoY	
	上期予想	通期予想	上期	通期
売上高(百万円)	8,000	17,500	112.3%	109.8%
営業利益(百万円)	400	1,100	135.6%	118.7%
経常利益(百万円)	400	1,100	133.8%	117.3%
当期純利益(百万円)	240	660	125.6%	111.5%
1株当たり当期純利益(円)	23.34	64.19	_	_

IRに関するお問い合わせ

https://www.vega-c.com/contact/ir/

当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成しております。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招く不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった 一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本 資料に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありませ ん。

